



神奈川の風



平成29年1月19日号

校長 吉江 明洋

< 校内書き初め展 金賞 >

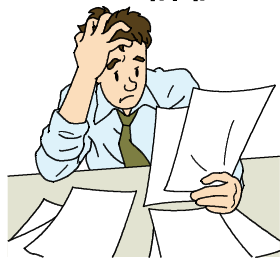
冬休みの課題であった書き初めを教室に掲示して「校内書き初め展」が行われました。1年生は「**新たな決意**」(楷書^{かいしよ})。2年生は「**夢と信じる**」(行書^{ぎようしよ})。3年生は「**功と奏する**」(行書^{ぎようしよ})が課題で、国語科の先生方による審査で各学年の金賞が発表されたのでお知らせします。

[1年金賞] 横山達也さん、峯岸哲也さん。[2年金賞] 藤原杏菜さん、山田美波さん、杉本俊介さん。[3年金賞] 中尾紫音さん、根本茜さん、山本桜子さん。以上8名です。職員室前のラウンジに展示されますので、学校にお越しの際にはご覧下さい。また、学校代表作品として、3年山本桜子さんの作品が、横浜市総合文化祭書写展に、他の金賞受賞者の作品は神奈川区書写展に出品されています。

文字が美しく書けることは一生の財産です。さらにその技能を伸ばしてほしいと思います。金賞受賞のみなさんおめでとう。



< 人の評価とは >



3年生は受験期まっただ中で、気持ちが落ち着かない不安定な時期だと思います。しかし、そんな時期だからこそ勉強だけでなく次のことも心にとめておいてほしいと思います。

中学生の時期には、誰もがテストの点数や成績を気にするように、各教科の基礎を身につけて将来の進路選択の幅を広げるためにも学習はとても大事なことです。

しかし、社会に出てからの人の評価は、学生時代に成績が良かった悪かったにこだわる人は誰もいません。むしろ学生時代に点数では表せなかった、当たり前のことをあたりまえにできる誠実さや、仕事に対する責任感、そして、明るく協調性があるなどの人柄^{ひとがら}の良さと意欲が評価の大きな要素となります(だから勉強しなくて良い...ではありませんのでお間違えなく。一般常識としての学力は社会に出てからもとても大切なものです)。

ですから、受験勉強をすると共に、人生で何が一番大切なのかを見失わずにいてほしいと思います。ただ勉強さえしていればでいいものではありません。いつでもあたりまえの顔してコツコツと掃除に取り組んでいたり、家の手伝いをしている生徒なんてとっても素敵です。皆さんもそんな仲間を十分に評価してあげてください。間違っても、点数やお金や地位でしか人間の価値を計れない悲しい人にはならないように。

